



声優になるにはどうしたらいいの

声優の仕事のいろいろ

声優の仕事は、テレビのアニメ番組や、アメリカ映画などの声のふきかえなどが、よく知られていますね。そのほか、声優の仕事としては、ナレーションが多いのです。

ナレーションというのは、映画・テレビ・ラジオなどで、番組の内容について説明することです。ナレーションをする人を、ナレーターといいます。テレビのコマーシャル、報道番組、旅番組、自然観察番組などのナレーションは、番組をおもしろくするために重要です。いろいろなビデオ作品のナレーションなどにも、声優が活やくしています。

声優になる方法

声優になるには、プロダクションや劇団に入るという方法があります。プロダクションを通して外部から仕事を頼まれますから、オーディションを受け、採用されたら仕事をします。これを何度もくりかえすことで、実績を積み重ね、多くの人に認められるりっぱな声優になれるのです。

声優の条件としては、標準語が話せることがいちばん重要です。それに、国語力(日本語を読み、理解する力)と、優れた感性と、ほかの人とちがう個性が必要です。

声優は、だれにでもできる簡単な仕事ではありません。高校や大学に通いながら、声優学校で基礎的なレッスンをうけ、それからデビューする、という地道な方法が、いちばんよいでしょう。(監修・青木 国夫)

